

## 安全データシート

作成日：2011年03月01日

改訂日：2016年07月01日

[SDS No. 11-1]

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名 : i J E S T A インクカートリッジ K-1 J

会社情報

会社名 : 岩崎通信機株式会社

住所 : 東京都杉並区久我山1-7-41

担当部門 : 第一営業本部 第一営業部

電話番号 : 03-5370-5476

FAX番号 : 03-5370-5494

緊急連絡先 : 03-5370-5476

推奨用途及び使用上の制限

: ソルベント系染料インク、i J E S T A用

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類

下記に記載が無い項目は、「分類できない」あるいは「分類対象外」

物理化学的危険性 : 引火性液体 区分4

健康に対する有害性 : 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2A

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分1 (全身、血液、中枢神経系)

区分2 (腎臓)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 区分2 (血液、腎臓)

環境に対する有害性 : 水生環境有害性 (急性) 区分3

ラベル要素

絵表記



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 可燃性液体

強い眼刺激

全身、血液、中枢神経系の障害

腎臓の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による血液、腎臓の障害のおそれ  
水生生物に有害

注意書き

安全対策

: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
取扱い後は手をよく洗うこと。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
環境への放出を避けること。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急処置

: 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること  
気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。  
眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当を受けること。  
火災の場合：消火に炭酸ガス、泡、粉末を使用すること。

保管

: 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。  
施錠して保管すること。

廃棄

: 内容、容器を都道府県知事の認可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託し廃棄すること。

他の危険有害性

高温になると引火、燃焼する恐れがある。

### 3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別：混合物

成分及び含有量

成分名	含有量 [%]	官報整理番号	C A S N o .
エチレングリコールモノブチルエーテルアセテート	60.0～70.0	2-740	112-07-2
プロピレングリコールメチルエーテルアセテート	10.0～20.0	2-3144	108-65-6
染料	1.0～10.0	非公開	非公開
樹脂	10.0～20.0	非公開	非公開
その他添加剤	1.0～10.0	非公開	非公開

### 4. 応急措置

吸入した場合	: 気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が改善しない場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	: 付着物を布にて素早く抜き取る。 大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
眼に入った場合	: 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 まぶたの裏まで完全に洗うこと。 直ちに医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	: 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。 嘔吐物は飲み込ませないこと。 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
応急措置をする者の保護	: 適切な保護具（保護メガネ、防護マスク、手袋等）を着用する。 換気を行う。

---

## 5. 火災時の措置

消火剤	: 炭酸ガス、泡、粉末。
使ってはならない消火剤	: 水（棒状水、高圧水）
特有の消火方法、消化を行う者の保護	: 適切な保護具（耐熱性着衣等）を着用する。 安全に対処できるのであれば、可燃性のものを周囲から取り除く。 指定の消火剤を使用すること。 高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。 消火活動は風上より行う。

---

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。 屋内では換気をしっかり行う。 屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。 付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
-----------------------	---

環境に対する注意事項 : 河川への排出等により、環境への影響を起さないように注意する。  
封じ込め及び浄化方法及び機材 : 漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。  
付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置すること。  
衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。  
乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 換気の良い場所で取り扱う。  
周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。  
作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。  
工具は火花防止型のものを使用する。  
皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入ったりしないよう保護具を着用する。  
インクを飲まないようにする。  
取扱い後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。  
密閉された場所における作業には十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業すること。

技術的対策 : 情報なし  
安全取扱注意事項 : 情報なし  
接触回避 : 情報なし

保管  
安全な保管条件 : 日光の直射を避ける。  
通風の良いところに保管する。  
盗難防止のために施錠保管する。  
子供の手の届かないところに保管する。  
強酸化剤、酸塩化物、酸無水物、強アルカリ、水酸基と反応する物質（イソシアネート等）と同じ場所に置かない。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 : エチレングリコールモノブチルエーテルアセテート  
TLV : 20 ppm (TWA), A3 (ACGIH 2003)

設備対策 : 屋内作業の場合、作業者が直接暴露されない設備とするか、全体換気装置または、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備にすること。  
腐食性物質に、作業者が直接接触したり、暴露したりしないような配慮をすること。

取り扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。

#### 保護具

- 呼吸用保護具 : 有機ガス用防毒マスクを着用する。
- 手の保護具 : 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。
- 眼の保護具 : 取り扱いには保護メガネを着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : 取り扱う場合には、皮膚を直接曝露されないような衣類を着けること。また、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

### 9. 物理的及び化学的性質

#### 外観

##### 物理的状态

- 形状 : 液体
- 色 : 黒色
- 臭い : 溶剤臭
- 沸点、初留点及び沸騰範囲 : 120℃以上
- 引火点 : 61.5℃
- 燃焼又は爆発範囲の上限・下限 : 0.9～13.7%
- 蒸気圧 : 500Pa (20℃)
- 比重 (密度) : 0.99±0.01 (20℃)
- 粘度 : 8.02mPa・s (25℃)

### 10. 安定性及び反応性

- 反応性 : 標準条件では危険な反応はしない。
- 化学的安定性 : 情報なし
- 危険有害反応可能性 : 標準条件では危険な反応はしない。
- 避けるべき条件 : 加熱、火源、混触危険物質との接触。
- 混触危険物質 : 強酸化剤、酸塩化物、酸無水物、強アルカリ、水酸基と反応する物質 (イソシアネート等)
- 危険有害な分解生成物 : 強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。爆発性過酸化物を生成することがある。  
燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素などの有毒ガスが発生する。

### 11. 有害性情報

急性毒性 : 眼、経皮、経口摂取、蒸気の吸入

成分名	経口 (rat)	経皮 (rat)	吸入 (rat) (ガス)	吸入 (rat) (蒸気)	吸入 (rat) (ミスト)
エチレングリコールモノブチルエーテルアセテート	LD50 2400mg/kg	LD50 1500mg/kg			

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	LD50 8352mg/kg	LD50 >5g/kg		LD50 >4350ppm(4h)	
--------------------------	-------------------	----------------	--	----------------------	--

皮膚腐食性・刺激性 : 製品としては区分外

眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 製品としては区分2 A

プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	: 区分2 B (含有量 10-20%)
--------------------------	----------------------

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 製品としては区分外

生殖細胞変異原性 : 製品としては区分外

発がん性 : 製品としては区分外

生殖毒性 : 製品としては区分1 B

特定標的臓器毒性, 単回ばく露 : 製品としては区分1 (全身、血液、中枢神経系)、区分2 (腎臓)

エチレングリコールモノメチルエーテルアセテート	: 区分1 (全身、血液、中枢神経系)、区分2 (腎臓) (含有量 60-70%)
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	: 区分3 (麻酔作用、気道刺激性) (含有量 10-20%)

特定標的臓器毒性, 反復ばく露 : 製品としては区分2 (血液、腎臓)

エチレングリコールモノメチルエーテルアセテート	: 区分2 (血液、腎臓) (含有量 10-20%)
-------------------------	----------------------------

吸引性呼吸器有害性 : 情報なし

## 1 2. 環境影響情報

### 一般注意事項

- ・漏洩、廃棄等の際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。  
特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

### 生態毒性

水生環境有害性 (急性) : 製品としては区分3

エチレングリコールモノメチルエーテルアセテート	: 甲殻類 (オオミジンコ) EC50 (48h) = 67.5mg/L
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	: 魚類 (メダカ) LC50 (96h) >100mg/L
	: 甲殻類 (オオミジンコ) EC50 (48h) = 370mg/L
	: 藻類 (セテナストラム) EC50 (72h) >1000mg/L

残留性・分解性 : 情報なし

生体蓄積性 : 情報なし

土壌中の移動性 : 情報なし

オゾン層への有害性 : 情報なし

### 1 3. 廃棄上の注意

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

廃塗料、廃溶剤、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

排水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

異種の塗料廃棄物を混合して処理する場合は、各種法規制に従って混合処理の可否を判断すること。

### 1 4. 輸出上の注意

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

国連番号（UN No） : 非該当

〔国内規制〕

陸上規制情報 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

荷造り人は運送業者に運搬注意書（イエローカード）を交付する。

海上規制情報 : 船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空規制情報 : 航空法の定めるところに従うこと。

〔国際規制〕

海上規制情報 : I M O / I M D G の規定に従うこと。

航空規制情報 : I C A O / I A T A の規定に従うこと。

### 1 5. 適用法令

消防法 : 危険物 第4類 第2石油類 危険等級Ⅲ

毒物および劇物取締法 : 非該当

P R T R 法 : 非該当

化学物質の審査および製造

等の規制に関する法律 : エチレングリコールモノブチルエーテルアセテート

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物  
(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)  
(政令番号 第312号「シリカ」)

: 危険物・引火性の物  
(施行令別表第1第4号)

大気汚染防止法 : 揮発性有機化合物 法第2条第4項(環境省から都道府県への通達)  
プロピレングリコールメチルエーテルアセテート

海洋汚染防止法 : 有害液体物質（Y類物質）(施行令別表第1)

## 16. その他の情報

本データシートは、作成時または改定時において、製品及びその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱情報）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂致します。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものと混合、当社が認めた使用以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。

### 参考文献

国際化学物質安全性カード（I C S C）日本語版

G H S 対応 S D S ・ラベル作成ガイドブック 混合物用（塗料用）

N I T E (独立行政法人 製品評価技術基盤機構)化学物質総合情報提供システム

その他関連する安全データシート

---